



# きまりごと



## 登録と狂犬病予防注射

犬には狂犬病予防法に基づいた登録（生涯一回）と狂犬病予防注射（毎年）が義務付けられています。登録は市町村の窓口で行なってください。（手数料が必要です。）狂犬病予防注射は市町村が行なう集合注射を利用するか、かかりつけの動物病院に相談しましょう。

### 鑑札は全国共通の迷子札

登録の鑑札には登録した自治体と番号が書かれていて、犬が全国のどこで保護されても飼い主が分かるようになっています。犬には必ず鑑札をつけると共に、引越しなどの時には、犬の登録変更届も忘れずに出しておきましょう。



市町村番号など  
その犬の固有番号

## 放し飼いの禁止

犬の放し飼いは県の条例で禁止されています。必ず繋ぐか、しっかりした囲いの中で飼うようにしてください。また、道路に面した場所に繋いでいると、前を通った人が驚いてけがをしたり、犬に危害が及んだりする場合がありますので、繋ぐ場所は道路に接しないように注意しましょう。

## 愛護と管理

その他に飼い主の責務として動物の愛護及び管理に関する法律で下記のこと定められています。

- ・ 犬の健康と安全の保持
- ・ 人に迷惑をかけない
- ・ 所有者の明示（名札などをつける）
- ・ 繁殖制限

# 犬の健康のために 気をつけたいこと

## 正しい食事

人と犬では必要とする栄養素が違うので、人の食事は犬の健康を損なうことがあります。喜んで食べるからといって人の食べ物を与えてはいけません。

与えてはいけないもの：タマネギ（貧血や血尿をおこす）、牛乳（下痢をすることがある）、鶏の骨（通過障害を起こすことがある）、甘いもの（肥満のもと）、塩辛いもの（内臓に負担をかける）

犬と長く幸せに暮らす為には、日頃からの健康管理が重要です。

毎日のスキンシップの中で犬の健康状態を確認する習慣をつけましょう。

言葉で伝えられないから、飼い主が頼りなんだ。

## 狂犬病の予防

フィラリアとは蚊の吸血によって感染し、犬の心臓内に住みつく寄生虫です。予防をしないとほとんどの犬が感染して、最悪の場合、死んでしまいます。



## ブラッシング

ブラッシングは毛を清潔に美しく保つだけでなく、スキンシップをはかったり、全身の健康状態をチェックすることができます。犬の皮膚の状態に注意しながら、こまめに手入れをしましょう。

## 全身をくまなく触ろう

口をあけさせて見たり、足先、耳、尾などもさりげなく触って健康状態を確認します。触られることに慣れさせておくことで治療を受ける時などにもスムーズです。

いつもとちょっとでも様子が違ったら、かかりつけの動物病院に相談してね。



## 混合ワクチンの接種

感染の危険と、致死率の高い代表的な病気を予防します。

犬ジステンパー、犬パルボウイルス感染症、犬伝染性肝炎、犬パラインフルエンザウイルス感染症、犬アデノウイルス2型感染症、コロナウイルス感染症、犬レプトスピラ感染症など

## 狂犬病の正しい知識

狂犬病とは主に犬のかみ傷によって人や他の動物に感染して脳神経系が侵されるウイルス性の感染症で、発病するとほぼ100%死亡します。日本では昭和20年代まで繰り返し流行がありましたが、昭和25年に狂犬病予防法が施行されたことにより昭和32年以降、狂犬病の発生がみられない世界でも数少ない国の一つとなっています。海外ではアジアを中心に毎年4~5万人の人が狂犬病によって命を落としており、近年の人や動物の国際的な移動の増加に伴って、狂犬病が日本に入ってくる危険性も高くなっています。犬には毎年一回の予防注射を受けさせて確実に予防することが大切です。

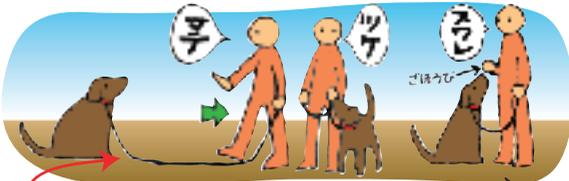
犬との暮らしのしおり

楽しい



## しつけをしよう

犬には飼い主の指示に従うようにしつけをしましょう。言葉で指示したことを守れる犬になれば、どこへ連れていっても安心です。



しつけの訓練中もリードはつけておいてね。



ジャーキーなどのごほうびは小さいかけらで十分。量は少なくとも何回ももらえるほうが嬉しいよ。

### ポイント!!

しつけは「体罰よりごほうび」。エサやおもちゃなどのごほうびを上手に使って「言うことをきく」といふ事があるなあ」と、犬が喜びながらすすんで覚えるようにしむけましょう。

## 去勢・不妊手術をしよう

望まれない命を生み出さないために、また繁殖のストレスから開放するために、繁殖制限（去勢・不妊手術など）をしましょう。



無駄吠えや逃走

手術をしないと...

望まれない子犬の誕生

## 散歩のマナー

楽しい散歩も、マナーを守らないと周りの人に迷惑をかけてしまいます。「楽しいのは自分だけ」ということにならないように！

糞は必ず持ち帰ってくださ。おしっこも、玄関先や自動車など、他人の迷惑になるところではさせないようにしましょう。



必ずリード（引き綱）をつけて歩きましょう。

散歩させる場所や時間にも配慮が必要です。仲の悪い犬のいる家の前や、登下校の時間帯に通学路を通る場合などには充分気をつけましょう。



どんなときでもしっかり犬を制御できる人が散歩をさせてください。犬の大きさや飼い主の体力を考えて、余裕のある散歩を楽しみましょう。

ぼくたちは耳が敏感だから、突然の物音に驚いて急に走り出すことがあるよ。

### 糞の上手な取り方



袋の下から手を入れてひっくり返す

糞をしっかりとつかむ

袋を元通りひっくり返す

## 飼育状況のチェックをしよう!

犬を飼うときは飼育環境に対する心配りが大切です。適正に飼育できているか、下記のチェック項目を確認してみましょう。

周りに迷惑をかけてない?



犬が鳴いていないか?

犬は必要がなければむやみやみと鳴く動物ではありません。犬が習慣的に鳴く場合は、原因を探して取り除いてください。

飼育場所は清潔か?

ハエなどの害虫が発生していませんが、水溜りができないように管理しましょう。

糞を放置していないか?

犬が糞をしたら、後回しにせず速やかに片付けましょう。

抜け毛が落ちていないか?

抜け毛は飛散して、悪臭や害虫の発生、排水溝の目詰まりなどによる迷惑のもとになります。確実に始末しましょう。

悪臭がしないか?

飼育場所の地面が土だと尿がしみこんで匂いがたまっていきます。



首輪はゆるんでいないか?

首輪のサイズが適正か定期的にチェックしましょう。指が2本入るくらいが最適です。

糞尿はすぐに片付けよう

鎖と首輪の留め金はいたんでいないか?

散歩用リードの留め金も確認しましょう。

柵や塀にすきまができていないか?

犬の顔が出ないように注意しましょう。

登録の鑑札はついているか?

紛失した場合は、再交付を受けてください。

狂犬病予防注射済票がついているか?

毎年、新しいものに付け替えましょう。



狂犬病予防注射済票

ロングリードは本来「マテ」「コイ」などのトレーニングをするための道具です。周りに人がいない広い場所で使うべきものですから、散歩には向きません。また、長いリードでは急な動きを制御することもできませんので散歩には短いリードを使うようにしましょう。「ツケ（脚側歩行）」を覚えさせると短いリードでも楽しく散歩ができます。

### ロングリードは何のため?

自宅の犬用トイレで排泄する習慣をつけておくと、公共の場所や他人の土地を汚さないだけでなく、散歩に行かないと糞ができないから散歩を要求して鳴く」といったトラブルも避けることができます。ただし、犬は運動すると腸の運動が刺激されて糞をしにくくなるという習性がありますので、散歩のときは念のために糞を持ちかえる用意をしていきましょう。

### トイレを教えよう

犬はもともと群れの中で社会性を身につける動物ですが、家庭内だけで社会化期（生後四〜十二週）を過ごすペットの犬には、社会性が育ちにくい傾向があります。社会性の低い犬は極端な怖がりから攻撃行動をとったり、必要以上に吠えたりして飼い主の悩みのタネとなる場合があります。社会化期には病気の感染に気を付けながら、いろいろな環境でいろいろな人や動物と合わせて、犬の社会性を育てようとしていきましょう。

### 社会性を育てよう

「ワンワン」「はいはい」「ご飯ね」と、犬が鳴くたびに言いなりになっていませんか?犬は鳴くと欲求が満たされると覚えてしまい、欲求があるたびに鳴くようになります。犬のベースにあわせなくて飼い主がリーダーシップを取りましょう。

### 無駄吠えを教える?

「こらっ、シロー」というように、つい名前で叱っていませんか?名前を叱る習慣をつけると、犬は名前を呼ばれると叱られていると解釈してしまいます。呼び寄せたいときに名前を呼ぶと「叱られる」と感じて寄ってこないなんて寂しいですね。叱るときは「イケナイ」「ダメ」などの言葉を使いましょう。

### 名前で叱らない

